



守りたいものがある。勇気を行動に変えて。

BRAVE HEART

三重県
四日市市消防本部
ver.2024

まち 美しき四日市を、 大切な人を、本気で守る。

四日市市の安全・安心を
守ることが私たちの使命です。
今この瞬間。このまちを。
24時間 365日、本気で守ります。

四日市市消防本部 概要

四日市市消防本部は三重県の北部に位置し、四日市市及び消防事務を受託している三重郡朝日町、川越町を合わせ、1市2町、人口約33万人、総面積 221.21km²を管轄しています。当本部は、消防本部1カ所・消防署3カ所・分署6カ所・出張所2カ所で構成され、消防職員 381名(定数)、消防車両 92台を配備しています。

令和5年中の火災・救急・救助件数について

火災発生件数	84件	(昨年より)	+5件
救急出動件数	17,602件	(昨年より)	+567件
救助出動件数	120件	(昨年より)	-35件

四日市市消防本部 庁舎

- 本部…………… 1
- 消防署…………… 3
- 分署…………… 6
- ▲出張所…………… 2



「安心」して暮らせる、「安全」な四日市は私たちが作る。

火災 FIRE

被害を最小限に。
1秒でも早く駆け付ける。

火災現場の最前線。
消火活動・逃げ遅れた人を救助するため、
あらゆる災害現場に出動します。
被害を最小限に食い止めるため、
日々訓練を重ねています。

機関員としての誇り

私は、火災現場で主に機関員として活動しています。機関員は、サイレンを鳴らした消防車を運転し、安全かつ迅速に現場に向かう仕事です。隊員が現場に到着しなければ消火活動を行うことはできないため、責任重大な任務と感じています。そのため、私は日常から地理調査を行ったり、隊員同士でルート選定について話し合ったりしています。この努力が実を結び、無事に火災を鎮火させ、市民に貢献できたと思うときに誇りとやりがいを感じます。



北消防署 消防士長 特別救助隊 (大型機関員)
(平成 28 年採用)



大型放水砲車

県内唯一

ドラゴンハイパー・ コマンドユニット (DHCU)

緊急消防援助隊に登録している石油コンビナート火災等の特殊災害に特化した部隊です。毎分 8,000 リットルの放水が可能な「大型放水砲車」と、河川や海から大量の水を吸い上げて送ることができる「大容量送水ポンプ」が配備されています。

救急 EMS

救いたい。その一心。

一刻を争う急病人やけが人を救う。傷病者の症状に応じた処置を行いながら、医療機関に搬送します。速やかな救急処置を行うことはもちろん、傷病者本人や家族の方々の不安を取り除くことも救急隊の重要な役割の一つです。

救急救命士

国家資格を持った救急救命処置のスペシャリスト
病院に搬送される傷病者に対して救急救命処置をする
スペシャリスト。薬剤投与(アドレナリンやブドウ糖)
などの処置を行うことができます。



命や心を救うために

消防士として働く中で、命の最前線として働いている救急救命士の仕事に憧れを持つようになりました。傷病者や家族の方から感謝の言葉を頂いたときや女性救急救命士ということで市民の方に安心感を感じてもらえたときに、とてもやりがいを感じています。ひとりでも多くの人の命や心を救えるように日々訓練に励んでいます。



中消防署中央分署 消防士長 救急隊 (救急救命士)
(平成 23 年採用)

予防 FIRE PREVENTION

火災のない日常を守る。

火災の発生を未然に防ぐため、市民や事業所に対しての火災予防の広報をはじめ、市内の建築物・事業所・危険物施設などで立入検査を行い、法令に基づいた指導や違反是正を行っています。そのほか、火災の原因から火災予防に必要な施策の立案も行います。



救助 RESCUE

どんな災害からも必ず救い出す。

さまざまな救助現場に出動して、救出救助活動を行います。
当本部は、高度な救助技術を持つ特別部隊を多く配置しています。



高度救助隊



人命救助の最後の砦

救助に関する専門的で高度な知識及び技術を持つ隊員で構成された部隊。



水難救助隊



高度な潜水救助技術

水難事故に対応するため、潜水士という専門的な知識と技能を持った隊員で構成された部隊。



国際消防救助隊 (IRT)

県内唯一

※東海3県では四日市市消防本部・名古屋市消防局・岐阜市消防本部のみ



海外で活躍する救助のスペシャリスト

諸外国で大規模な災害が発生した際に、国際緊急援助隊のメンバーとして派遣される部隊。高度救助隊員のうち、6名の隊員が登録されています。



自覚と誇りを持って

私は高度救助隊として、またIRT登録隊員として中消防署で勤務をしています。IRT登録隊員は全国で599名の救助隊員が登録されており東海3県では、四日市市消防本部を含めた3消防本部のみが登録されています。

IRT登録隊員は海外への派遣が決定すると24時間以内に日本を出発し、海外の被災地で昼夜を問わず救助活動を行うという任務が課せられています。

このように私たちには大きな責務があり、この責務を全うできるように高度救助隊、IRT登録隊員であるという自覚と誇りを持ち日々の訓練、業務にあたっています。

中消防署 消防士長
高度救助隊 (IRT登録隊員)
(平成23年採用)



土砂災害隊

県内唯一

大規模風水害に対応

5t級重機を操作し、大規模な土砂災害や風水害に対応する部隊。



特別化学隊

県内唯一

特殊災害のプロフェッショナル

化学防護服や多種多様な測定器を使用し、有害物質の漏えいやテロ災害等に対応する部隊。



指揮 COMMAND

全てを把握し的確な指揮を執る。

指揮隊

災害現場で情報を収集・判断し、指揮を執る部隊。火災原因調査も行う。



ドローン隊

火災や救助現場で迅速に上空から災害状況の把握などを行う。



指令センター

OPERATIONS CENTER



助けを求める声に答えるために!

管内で発生した全ての119番通報を受信し、各消防署に的確な出動指令を出します。そのほか、災害発生場所の確認、出動隊の編成、出動から帰署に至る活動内容の管理・把握、救急隊が到着するまでに市民に対して応急手当の口頭指導を行います。

採用からの流れ

災害から市民を守るプロフェッショナルへの道



消防学校

FIRE ACADEMY

仲間と共に、消防士の第一歩を踏み出す

採用された消防士は、消防署などに配属される前に、初任科教育及び救急科教育として8カ月間、全寮制の消防学校に入校し、消防士としての基礎的な知識や技能、体力を身につけます。また、公務員として必要な地方公務員制度の基本理念、身分、服務規律などについても学びます。



基礎教育

公務員としての心得、倫理、法制度、服務、地方自治などの基礎を学びます。また、消防法、消防組織法などについても学びます。

実務教育

各業務に関する基礎知識として消防用設備・建築・救急・防災・査察などに関する知識を身につけます。

実科訓練

消防活動におけるホースやロープ、救助器具の使用方法などの基本的な取り扱いを学ぶほか、筋力・体力の錬成も行います。



取得可能資格

消防署に配属後にキャリアアップや業務で必要となる資格は全て公務で取得可能！

- 大型自動車免許
- 救急救命士免許
- ドローン技能講習
- 潜水士免許
- 小型船舶免許
- 重機運転講習 など

勤務形態・福利厚生

当本部の勤務形態は交替勤務と毎日勤務に分かれています。また、消防職員は地方公務員のため、市役所の職員と同様にさまざまな支援制度が活用できます。

勤務形態

- 毎日勤務
月曜日から金曜日まで
(土・日・祝日休み)
勤務時間／8:30～17:15
- 交替制勤務
8:30～翌8:30の24時間勤務
(勤務時間：15時間30分)
(休憩時間：8時間30分)
当務・非番・週休を繰り返す
3部交替制勤務

特殊勤務手当

- 出動手当 (1件あたり)
火災出動 450～510円／1件
救急救命士出動 510円／1件
救急出動 250～350円／1件
緊急消防援助隊出動 最大1,680円／日
- 訓練手当 (1回あたり) 300～400円
- 潜水手当 (1回あたり) 510円
- その他
検査調査手当、夜間特殊業務手当、
国際緊急援助隊派遣手当等

休暇

年次有給休暇は年間20日で、未使用の日数は翌年に繰り越されます。(最大40日)
その他、夏季・結婚・忌引など、条例で定められた特別な休暇があります。

年次有給休暇取得日数の平均
(令和4年度実績)
約19.8日 (県内平均:13.9日)
※ 四日市市消防本部全職員平均
加えて夏休み6日間も取得できます。

子育てに関する制度

- 育児休業
子どもが3歳に達するまでの期間、休業ができます。
- 部分休業
子どもが小学校に就学する前までの期間、正規の勤務時間の始めまたは終わりに、1日を通じて120分以内の休業ができます。
- 出産休暇
出産予定日の6週間前の日から出産後8週間を経過する日までの期間に、取得できます。
- 出産補助休暇
配偶者が出産のため入院した日から出産後2週間以内の期間内に、2日間休暇を取得できます。その他、多数休暇制度あり。



四日市市中消防署 激録密着 24時!

～ 消防士の毎日～

出動要請があれば、
どんなときでも直ちに
駆け付けます



- 1 整列・点呼をして当直の24時間が始まります。
- 2 出動に備えて車両と資機材の点検。
- 3 事務作業も意外と多い！出動報告書や立入検査結果の作成。
- 4 消火・救助・救急、さまざまな現場を想定して訓練中。
- 5 6 体が資本の隊員を支えるのは、食事と筋トレ。この日の食事メニューは「四日市市消防とんてき」！！
- 7 夜は6時間30分の休憩時間があり、4時間30分の仮眠が取れるように交替で勤務。仮眠中もすぐに出勤できるように隊服で仮眠。

多くの女性消防士が あらゆる現場で 活躍しています！

当本部では、令和5年4月1日現在17名の女性消防士が警防、救助、救急、通信指令、火災予防、総務など、さまざまな現場で活躍しています。消防の世界は想像以上に幅広く、「自分のチカラ」が多くの場面で発揮できる職場です。



全庁舎に女性用施設 完備！

令和7年には全庁舎に女性用施設が設置され、全庁舎で女性消防職員の24時間勤務が可能になります。



四日市市について

三重県北部に位置する四日市市。天然の良港に恵まれたこの地は、江戸時代には東海道の宿場として栄え、四の付く日に“市”が開かれていたことが市名の由来となっています。

戦後は四日市港を中心にコンビナートが立ち並び、近年では多様な企業が集積する三重県内最大の人口を擁するまちへと発展。また、周辺には鈴鹿山脈や伊勢湾といった豊かな自然にも恵まれ、県内屈指の産業都市でありながら、心癒される魅力あるスポットも数多く存在しています。



大四日市まつり



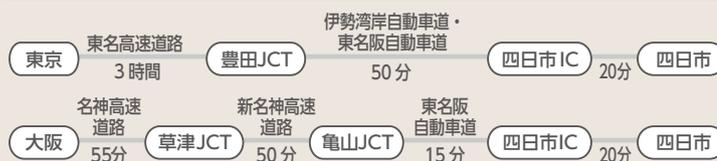
コンビナート夜景

四日市市へのアクセス

電車でお越しの場合



車でお越しの場合



四日市市消防本部公式HP、SNSで魅力ある情報を発信！

HP



Instagram



X



YouTube



四日市市消防本部
就職説明会や
採用に関する情報を
いち早く Get!!



四日市市消防本部公式キャラクター ラブ

お問合せ 四日市市消防本部 総務課 総務係

TEL : 059 - 356 - 2002 mail : syoubousomu@city.yokkaichi.mie.jp